



延島っ子

発行者 延島小学校長 田村芳広

電話 49-0004 FAX 49-2761

明けましておめでとうございます。 今年もよろしくお願いたします。



冬休みが無事終了し、学校が一番心配していた交通事故の知らせがなかったことが何よりうれしいことでした。御家庭の皆様の子どもたちへの御指導のおかげです。

さて、今日から、一年間のまとめをする大切な3学期が始まりました。どうぞよろしくお願いたします。学校では子どもたちの進級、進学準備をしていきます。始業式の話では、4月によい進級、進学ができるために、一つ上の学年のお友達をよく見ることを話しました。また、上の学年は下の学年によく見せることを話しました。上の学年と下の学年がお互いに意識して学校生活をおくり、4月には一つ上の学年にスムーズに進級できることを目指します。

また、3学期はまとめの学期です。特に学習においては、2学期の成果の上に、3学期の学習を積み重ね、成果を形にしなければなりません。御家庭でも、「子育ての当事者」として、学校と同じ考え方でお子さんに声をかけて、励ましてください。特に、宿題に取り組むお子さんの状況を見て、お子さんが最後まで頑張ろう、難しい問題でも一生懸命考えてみようというような学習意欲が高まるように言葉をかけていただくと大変ありがたいです。よろしくお願いたします。

子どもの叱り方 「わかった」「～～なんだね」

年が新しくなったこの時期は、いろいろなことを振り返り、新たな気持ちで再スタートをする時期です。この機会に、子どもに対する自分を振り返ってみてはどうでしょうか。例えば、子どもに何か指導しなければならないとき、子どもから状況、事情を聴きます。しかし、大人（教師も含め）は子どもの話を聴きながら、頭で次に言うことを考えていることがないでしょうか。すると、必ず、子どもの話が終わるとすぐに、「でもね…」とか「だけどね…」「あなただってね…」という切り返しになります。場合によっては、子どもの話が終わらないのに、途中で「でもね…」と子どもの言葉を遮ってしまいます。

以下、県内公立小学校2年、5年、中学校2年の児童・生徒と保護者2300名を対象とした調査結果があります。その一部を紹介します。

『とちぎの子ども生活状況調査』（平成22年3月総合教育センター）

- 1-(1) 大人が子どもを指導する場面が、5年前の調査と比べると減っている。
- 1-(2) 大人が指導することで、子どもは指導されたことについて向上するだけでなく、自信を深め、決まりを守る意識、時間を自己管理する力が高まる。
- 1-(3) 子どもが納得できるような指導をすることが大切である。
※各項目には3～6の調査結果が示されていますが、今回は(4)についてのみ記載します。
- 1-(4) 子どもが納得できる指導をするためには、普段から、大人が子どもか

ら信頼されるように接することが大切である。

- ① 「意見が違って保護者が耳を傾ける」と回答した子どもほど、「保護者から注意されたときに納得する」と回答した傾向がある。
- ② 「保護者にほめられる」と回答した子どもほど、「保護者から注意されたときに納得する」と回答する傾向がある。
- ③ 「保護者は私のことを考えてくれている」と回答した子どもほど、「保護者から注意されたときに納得する」と回答する傾向がある。

子どもの話を聴くとき、「わかった」という言葉で子どもの態度が大きく変わったことが何度もありました。ただし、「わかったよ。でも、あなたも〜だよね。」と言うと聴いていることにはなりません。「わかった」は「わかった」で終わらせなければなりません。また、子どもの言っていることをゆっくり繰り返してあげるとさらによいと思います。「わかったよ。〜〜〜ということだね。」言っていることが確実にごまかしていることであっても、まずはじめは「わかった」と理解を示してあげることが、子どもの話を聴いてあげるといふことの基本かなと最近は思います。聴いてもらっていることを子どもが理解し、気持ちが落ち着いてくると、安心が生まれ、正直な部分が出てきます。その上で、子どもが納得する話をしていくことが大切だと思います。新年にあたり、家庭での子どもの接し方について参考にいただければ幸いです。

12がつ

について

1年生がのぶしま幼稚園児を招いて

12月18日(木)まとあて、ポーリング、つりぼり、めいろ等、1年生が幼稚園児のために一生懸命考えて開催していました。手作りのものもとてもよくできていました。体験するとシールがもらえて、幼稚園児は皆メダル(手作り)にたくさんのシールをもらってうれしそうでした。



高橋先生のクリスマスコンサート

12月17日(水)昼休み、高橋先生のクリスマスコンサートがありました。暗幕を張り体育館内部を暗くして、ステージのツリーの電飾が光っている中、ウエルカムBGMを高橋先生が弾いていました。そのうちに子どもたちが増えてくると、いよいよスタート。ステージのみライトがついて、コンサートが始まりました。子どもたちの発達段階にあった選曲や構成で楽しく聴くことができました。途中、高橋先生の伴奏で森戸先生のソロがあったり、5年生と高橋先生のコラボがあったり、体育館中が大変盛り上がりがありました。



記事になりました

小中一貫で行った『しりとりアート』と12月に行われたリンク栃木ブラックスの『キッズモチベーションプロジェクト』が読売新聞の『よみうりタイムス』に記事となって載りました。



自由な発想生かし
『しりとりアート』
製作

自由な発想生かし
『しりとりアート』
製作

自由な発想生かし
『しりとりアート』
製作

リンク栃木ブラックス・フレクシーが
小山・延喜小を訪問
キッズモチベーションプロジェクト



お知らせいたします

本校の菊池久美子教諭(教務主任)が、12月に食育に関する内容で県教育委員会から表彰されました。食育に関する表彰は学校賞と個人がありますが、個人賞については、今まで給食の栄養士の方が表彰されることばかりで、教諭で表彰を受けるのは初めてのことらしいです。事前に発表の資料を見ましたが、ここまでの菊池教諭の実践してきたことが大変すばらしいことだといふことがよくわかりました。